学校番号	203

令和３年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	最新現代社会　　新訂版（実教出版）						
副教材等	最新現代社会資料集　新版　２０２１（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代に生きる私たちがよりよく生きるにはどのように行動するべきかを、他者への尊重を念頭におき考えよう。
・現代社会の諸課題は、単独の課題として解決できるものではない。複雑に絡み合う課題について関連付けながら学習しよう。
・わが国や世界の動きについて常に問題意識を持ちながら情報を収集し、国民主権のもと、将来の有権者として多角的･多面的に考える力を養おう。

2　学習の到達目標

・ 現代社会と人間について、広い視野に立って理解を深める。
・ 現代社会の基本的な問題について、主体的に考え公正に判断する力や、人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養う。
・ 自らの個性を発揮し、文化･福祉の向上、発展に貢献する能力と、平和で民主的な社会生活の実現、推進に向けて主体的に参加･協力する態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	･現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	･現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的･多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	･現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	･現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	授業での観察 ワークシート 学習の振り返り	定期テスト(論述など) 討論や発表 ワークシート 学習の振り返り	定期テスト(資料やグラフの読取り・分析) 学習の振り返り	定期テスト ワークシート 学習の振り返り

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	地球環境問題	1. 破壊される地球(1) 2. 破壊される地球(2) 3. 地球環境問題への取り組み	○	○		○	a: 地球環境問題、特に地球温暖化に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 地球環境問題、特に地球温暖化について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、環境保全、温暖化防止をどのように図っていくかを多面的・多角的に考察している。また、国際的な取組や協力、自らの生活の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c: 地球環境問題、特に地球温暖化に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d: 地球環境問題、特に地球温暖化は、経済発展に伴う二酸化炭素などの排出、地球環境の汚染や破壊の問題であることを理解し、その知識を身に付けており、また、問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

一学期	資源・エネルギー問題	1. 限りある資源 2. エネルギーの開発と利用 3. 人口問題と食料・水資源		○	○	○	a: 資源・エネルギー問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 資源・エネルギー問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、消費・利用について多面的・多角的に考察している。また、自らの生活の在り方や価値観について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを考察した過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c: 資源・エネルギー問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d: 資源は有限であることを理解し、その公正な分配と持続可能な利用などについて様々な立場でそれぞれの考え方があることに気付き、その問題の生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、それらの知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

一学期	生命科学と情報技術の課題	1. 人間の生死と生命科学 2. 遺伝情報と利用の諸課題 3. 高度情報化社会と情報倫理	○			○	a: 科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に対する関心が高まり、自己とのかかわりに着目して設定した課題を意欲的に追究し、自己の在り方生き方と関連させながら考えようとしている。 b: 科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題について自己とのかかわりに着目して課題を見いだし、科学技術の発達に伴う生命の考え方の変化について多面的・多角的に考察している。また、科学技術と生命の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その考察過程や結果をまとめたり発表などを行ったりして表現している。 c: 科学技術の発達、特に生殖への介入や尊厳死・安楽死の問題、脳死と臓器移植、遺伝子技術と生命の問題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。また、課題の設定の仕方、統計や資料の見方、情報の検索や処理の仕方、簡単な社会調査の方法を身に付けている。 d: 科学技術の進歩が、人間の生命や死の在り方にまで影響が及んできたことにを理解し、その知識を身に付け、また、その問題が生じる背景や問題点を追究する観点として、倫理、社会、文化、政治、経済など様々な観点があることを理解し、それらの知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

一学期	自分らしく生きる	1. 青年期とは 2. 自己形成の課題(1) 3. 自己形成の課題(2) 4. 職業生活と社会参加	○			○	a: 青年の生き方に対する関心を高め、生涯における青年期の意義と自己形成の課題を意欲的に追究し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて考えようとしている。 b: 青年の生き方から課題を見いだし、生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題について自らの人生や進路選択とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、追究し考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 青年としての生き方に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、生涯における青年期のもつ意義と自己形成の課題、青年としていかに生きるかについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 生涯における青年期の意義と自己形成、望ましい職業観・勤労観や男女共同参画社会、社会参加、などについて理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

一学期	人間としてよく生きる	1. 哲学と人間 2. 宗教と人間 3. 科学と人間 4. 自由との実現 5. 人間と幸福 6. 人間性の回復と主体性の確立 7. 他者の尊重		○		○	a: 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味を意欲的に追究し、民主社会において自ら生きる倫理について考えようとしている。 b: 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味について自らの人生とかかわらせながら多面的・多角的に考察し、現代の社会に生きる青年としていかに生きるかについて社会生活の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、追究し考察した結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、人間としていかに生きるかについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 学ぶことの意義、人間の幸福と科学、人間の尊厳、正義と自由の意味などについて理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

一学期	日本人としての自覚	1．古代日本人の思想と仏教思想の展開 2．外来思想の受容と日本の思想		○		○	a：わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について意欲的に追究し、日本人の自然観や倫理観がどのように形成されたのかについて考えようとしている。 b：わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について、自らの価値観などを参照しながら多面的・多角的に考察し、日本人としての自然観や倫理観や在り方生き方について公正に判断している。また、それらを考察した結果を口頭や文章などで適切に説明・表現している。 c：わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について、関連する諸資料を様々なメディアを通じて収集し、日本人の自然観や倫理観の形成過程についての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d：わが国に古来から根付いている思想や外来思想の受容・伝統について理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

二学期	現代国家と民主政治	1. 民主政治の成立 2. 民主政治の基本原理 3. 民主政治のしくみと課題 4. 世界の主な政治制度	○			○	a: 近代政治と人権保障の歩みを理解し、国民主権・多数決・権力分立などの基本原理と政治制度の多様性をとらえている。 b: 人権思想と近代国家の発展の歴史に関心をもち、人権尊重の視点から、民主主義の基本原理の特質を理解している。また、それらを文章などで適切に説明・表現している。 c: 近代の人権思想の歩みと近代の民主国家の政治原理および現実の政治機構との関わりを、関連書籍や様々なメディアを通じて収集し、選択・活用している。 d: 近代民主政治の歩みと歴史的宣言・文書を通じて、民主主義の原理の形成過程を理解している。	授業プリント 定期考査

二学期	日本国憲法の基本的性格	1. 日本国憲法の制定 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 自由に生きる権利 4. 平等に生きる権利 5. 社会権と参政権・請求権 6. 新しい人権 7. 人権保障の広がりと公共の福祉 8. 平和主義とわが国の安全 9. こんにちの防衛問題	○	○	○	○	a: 現代の民主政治に対する関心を高め、基本的人権の保障、国民主権、議会制民主主義、平和主義などを意欲的に追究し、考えようとしている。 b: 現代の民主政治から課題を見いだし、民主社会において求められる価値や民主政治を基礎付ける考え方などについて多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 現代の民主政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から民主社会において求められる価値や民主政治を基礎づける考え方などについて学習に役立つ情報を主体的に選択して活用し、追究している。 d: 基本的人権の保障と法の支配、平和主義と我が国の安全など日本国憲法の基本原則について理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査 グループワーク

二学期	日本の政治機構と政治参加	1. 政治機構と国会 2. 行政権と行政機能の拡大 3. 公正な裁判の保障 4. 地方自治と住民福祉 5. 政党政治 6. 選挙制度 7. 世論と政治参加		○		○	a: 現代の民主政治に対する関心を高め、民主政治における個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方を意欲的に追究し、考えようとしている。 b: 現代の民主政治から課題を見いだし、個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について多面的・多角的に考察し、民主政治の在り方や民主社会における人間としての在り方について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 現代の民主政治とその課題に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から個人と国家の役割や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 国民主権と議会制民主主義など日本国憲法の基本原則と世論形成や政治参加の意義、民主政治の課題について理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査 宿題プリント

二学期	現代の経済社会	1. 経済主体と経済活動の意義 2. 経済社会の変容 3. 市場のしくみ 4. 市場の失敗 5. 現代の企業 6. 国民所得 7. 経済成長と国民の福祉 8. 金融の役割 9. 日本銀行の役割 10. 財政の役割と租税 11. 日本の財政の課題	○		○	○	a: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に対する関心を高め、それを意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。 b: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動から課題を見いだし、消費者、納税者としての個人の経済活動における社会的責任について多面的・多角的に考察し、様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、経済活動の在り方などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 現代の経済社会における企業の働き、公的部門の役割と租税、金融機関の働きなどについて理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査 宿題プリント

二学期	日本経済の特質と国民生活	1. 戦後復興から高度経済成長へ 2. 安定成長からバブル経済へ 3. 日本経済の課題 4. 日本の中小企業 5. 日本の農業 6. 消費者問題 7. 公害の防止と環境保全 8. 労働問題と労働者の権利 9. こんにちの労働問題 10. 社会保障の役割 11. 社会保障制度の課題	○			○	a: 現代の経済社会における諸事情に対する関心を高め、個人や企業の経済活動における社会的責任について意欲的に追究し経済活動の在り方について考えようとしている。また、近い将来社会に出て労働者となる自覚のもとに、労働環境に関する諸問題を自らにかかわる問題としてとらえている。 b: 企業の経済活動における法的・道義的責任について多面的・多角的に考察し、現代の経済社会における個人、企業の経済活動の在り方について社会の変化や消費者、生産者など様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 現代の経済社会における個人、企業や公的部門の経済活動に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から個人や企業の社会的責任などについての学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 現代の経済社会における技術革新と産業構造の変化、雇用と労働問題、公害の防止と環境保全などについて理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

三学期	国際政治の動向	1. 国際社会と国際法 2. 国際的な人権保障と国際政治 3. 国際連合と国際協力 4. 冷戦の成立とその崩壊 5. こんにちの国際政治 6. 人種・民族問題 7. 軍拡競争から軍縮へ 8. 国際平和と日本の役割	○			○	a: 冷戦終結後の国際政治に関する諸問題に対する関心が高まり、国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 b: 冷戦終結後の国際政治に関する諸問題から課題を見いだし、国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 冷戦終結後の国際政治に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から国際平和の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 人権、国家主権、国際法などを理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

三学期	国際経済の動向と国際協力	1. 貿易と国際収支 2. 外国為替市場のしくみ 3. 第二次世界大戦後の国際経済 4. こんにちの国際経済 5. 発展途上国の諸問題 6. 経済協力と日本の役割	○		○	○	a: 冷戦終結後の国際経済に関する諸問題に対する関心が高まり、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について意欲的に追究し、国際社会における日本の責任と役割について考えようとしている。 b: 冷戦終結後の国際経済に関する諸問題から課題を見いだし、国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について多面的・多角的に考察し、国際社会における日本の責任と役割について社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 冷戦終結後の国際経済に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、収集した資料の中から国際的な経済協力の必要性及び国際連合などの国際的な機構・組織の果たす役割について学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 経済の国際化、労働力・資本・技術・情報などの地球規模での移動や貿易の拡大と不均衡、南北問題などを理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

三学期	共に生きる社会を目指して	1. WTO 体制と発展途上国 2. 個人の自由と持続可能な社会		○		○	a: 持続可能な社会の形成に参画する個人としての自覚が高まり、多文化共生社会を実現させるために必要な個人の在り方生き方について考えようとしている。 b: 持続可能な社会、多文化共生社会を実現させるための課題を見いだし、国際機関や政府レベルの方策だけでなくＮＧＯの役割などについても多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断している。また、これらを追究し考察した過程や結果を口頭や文章などで適切に説明している。 c: 持続可能な社会、多文化共生社会の意義について、関連する諸資料を様々なメディアから収集し、それらのなかから学習に役立つ情報を主体的に選択して活用している。 d: 持続可能な社会、多文化共生社会や格差と貧困の解消などについて、その問題の所在と解決にむけての課題について理解し、その知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。